

# 9月議会で質問を致しました。

- 主な内容を抜粋致します。
- 詳細は、宇和島市議会のホームページにてどうぞ。発言者の名前や発言内容(単語等)で検索できます。

## 【1】積極策で医療・介護費用の削減を

1. 大腸がん健診率を高め医療費削減を計つてはどうか  
 【質問】大腸がんは、早期発見すると死に至る可能性がとて低い病気。検査の折に放射線を当てない検査で、検査による発がんリスクがないし、便潜血(べんせんけつ)検査を提案する。現在の受診率は?  
 【保健健康課長】26年度で13.7%である。  
 【要望】大腸癌検診について住之江方式が知られているが、宇和島の検診率は低い。住民の健康寿命を長くし、なおかつ医療費を削減するために、「早く見つければ命を落とすことがない」という啓蒙を進め、医師会等の協力を得て、受診率向上・早期発見の拡大に努められたい。

## 【2】防災ラジオを希望する施設・事業所へ提供しては

1. 配布率と機材残数を問う  
 【危機管理課長】防災ラジオの一般世帯への配布率は、市全体で65.1%。公共施設や避難所、避難ビル等への設置が580台、事業所や個人の世帯の2台目などの有償配布につきましては270台。(8月末現在)残数は、4,000台。  
 【質問】4,000台余れば、その4,000台の有効利用を考えて欲しい。現在の配布規則上の、有償配布なら希望しないが、無償なら設置しても良いという場所・施設へは、広く提供してはどうか。  
 【危機管理課長】公共施設等には無償で配布し設置しているが、人が集まる大型の施設については、追加の配布について検討をしている。  
 【要望】柔軟に運用を見直して欲しい、もう1点、避難場所に指定するところで電気の供給を受けられる地点へは設置を検討してはどうか。  
 【危機管理課長】津波の緊急避難場所について、防災倉庫を昨年度から設置しており、その防災倉庫には、まず1台入れている。管理可能な施設があるところについて、設置を検討したい。

## 【3】負担金・補助金の在り方について

1. 宇和島伊達400年祭負担金を題材として問う
2. ふるさと映画制作補助金を題材として問う

## 【4】まち・ひと・しごと創生基本方針について

1. 宇和島に仕事を作るために何をするか問う  
 【質問】求職と求人のミスマッチというが、宇和島地域の農業、漁業は不安定なところがある。だからこそ6次産業化等の工夫が必要。では、それ以外の製造業に対しての仕事づくりをどう捉えているか。県では、「スゴ技」、「すご味」、「すごモノ」、あと「スゴVen」と銘打って企業・事業者・個人をピックアップして動いている。宇和島ではどう動いているか。  
 【産業経済部長】現在、宇和島市の有効求人倍率は1を超えている。医療福祉関係や卸売業・小売業で多くの求人が出ている。しかし、仕事があっても求職者とミスマッチの傾向が見られる。求職者にとって十分な職場がないというふうな状況かと。就業構造を見ると、実際に従事率が最も高いのは第3次産業。求職者にとってそれが経済的な所得基準から判断して相対的に優位な職場になっていないことがあるのでは。3次産業についても1次産業から影響を受ける企業も多いと考える。そこで、まず、農業・漁業の後継者をつくる、あるいは事業継承の担い手をつくることの優先順位が高いと認識している。  
 愛媛ものづくり企業のデータベースの件については、宇和島市では26年度で2企業、3技術が取り上げられている。(県全体では163企業・207技術)  
 6次産業化を考えると、日ごろからの異業種間の交流の必要性を特に感じている。農業分野だけ捉えると、なかなか6次化できないが、そこに製造業の方・工業をやっている方の持っている技術を生かせないかという交流が必要だ。西条の「うちぬきサロン」のような取り組みを行っていく必要があると思う。  
 【質問】総合戦略PTの専門部会の既存産業の活性化と新産業の開発について、1番目の農林漁業の振興・水産業の振興の中には地産地消の促進という項目があるが、2番目の既存産業の活性化の中には地産地消という観点がない。必要ではないか。国のまち・ひと・しごと創生基本方針概要の中では、活力にあふれた地域経済実現に向けた取り組みの中に、地域の総力を挙げた地域経済好循環拡大が項目に入っている。この観点を加えて欲しい。  
 【産業経済部長】今後十分、取り組みの中で考えていかなければいけない課題だと捉えている。

2. 宇和島への新しい人の流れをどう作るかを問う  
 【質問】宇和島では、地方創生に乗って、どう準備をして移住促進をしていくのか。国の基本方針の中に、1.地方移住の支援、2.日本版CCRC構想の推進、3.企業の地方拠点強化、4.政府関係機関の地方移転、5.地方大学等の活性化という中項目が準備されている。  
 【産業経済部長】地方移住の支援について、移住希望者の年代層においてもそれぞれのニーズがある。そのニーズに合った対策が必要。まず、雇用の確保。中高年から高齢者に関しては、日本版CCRCという取り組みもある。移住促進の部会の中で、宇和島でのCCRCをどう売り出していかか考えている。  
 企業の地方拠点化については、企業立地・誘致を含めて進めたい。昨今の源吉兆庵は、まさに6次産業化をやってくれる企業であり、市としても支援をしっかりとしている。  
 【質問】CCRCについて、保健福祉部、コメントあるか。  
 【保健福祉部】無し。  
 【質問】地方大学等の活性化、研究機関の誘致についてプランはあるか。  
 【教育部長】今の段階ではないが、これから考えていく要点ではある。

## 【5】教育をどうする

1. 平成27年度 学力テストの結果は
2. 学力テストの結果を受けて、宇和島の教育・教育環境をどう変えるか
3. ソフトを補うハードへの投資についてICT環境整備についての予算配分を問う
4. 教職員の労働環境整備について具体的施策を問う
5. 実効ある青少年健全育成事業の実施は急務ではないか所見を問う
6. 青少年健全育成条例検討はどうか進んだか
7. 教科書はどうか決まったか問う。国の指針は守られたか。



2016年2月

武田元介ニュースレター Vol.9

# 黎明

REI MEI

宇和島市議会議員  
 たけだもとすけ  
 武田元介



### 【プロフィール】

宇和島市恵美須町生まれ(54歳)  
 天神小学校 卒業  
 宇和島市和霊町へ転居  
 城北中学校・宇和島東高・岡山大学 卒業  
 (株)加ト吉勤務後、宇和島漬物食品(株)入社  
 宇和島市大浦へ転居  
 宇和島市栄町港に転居

【趣味】マラソン・トライアスロン  
 家事・育児・読書



あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の読者登録しませんか?~他人事でなく自分事~

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎月(年4回の予定)お届けいたします。是非、下記までお申し込みください。

メール [m\\_takeda@motosuke.net](mailto:m_takeda@motosuke.net)  
 FAX 0895-24-5610

### 皆さんの声を聞かせてください

ミニ集会・座談会お申し込み、少ない人数でもかまいません。武田元介が伺わせていただきます。

皆様で自主開催されるミニ集会や座談会に是非参加させていただけたらと思います。[ママ友が集まる会・ご近所やスポーツ仲間が集まる会]など、どんな会でもかまいません。是非伺わせていただいております。

facebook ブログの更新やツイートのまとめなど、いろいろな情報を発信しています。

twitter 時々つぶやいています。フォローお願いします。 @TakedaMotosuke

政策発信 <http://motosuketrd.blog.fc2.com/>